

# 防コミの歩き方



## 二葉地区防災福祉コミュニティ津波避難訓練(若松地区へ避難)

### ●テーマ別訓練実施

東日本大震災による東北の津波被害は、全国の沿岸の住民に津波に対する認識を一変させました。本年4月も地球の裏側のチリで地震が発生し、日本の沿岸にも津波注意報が発せられ、津波の問題が決して過去のことではないと思われ知らされました。

津波に備えての訓練は各地域とも回数を重ねてまいりましたが、同じ訓練を漫然と繰り返しているわけではなく訓練ごとにテーマを設定し、その検証を目的として実施されています。



### ●避難訓練概要

平成25年12月1日、長田区防災訓練に合わせて長田区南部の二葉地区の住民が国道2号線北側にある若松公園まで避難訓練をおこないました。

今回の検証目的は「避難の声かけの方法」と「避難者の受け入れ」の問題です。

### ●「声かけ」と「避難者の受け入れ」

「避難の声かけの方法」は地域の皆さんが、声かけの範囲、声かけの相手方の反応、特に困難を極める要援護者の「寝たきり」の方への対応を、津波が到達するまでの限られた時間内でおこなわなければなら

ない等、今後もいろいろと熟慮しなければならない問題点が提起されました。

「避難者の受け入れ」は長田区の場合、国道2号線が津波避難の大きな目安になることから、国道を境にして南部の住民を北部の住民が受け入れるという課題もおのずから生じます。

平成7年の阪神・淡路大震災時、長田区においても被害の比較的小さかった地域が自発的に被害の大きい地域を支援したという事実があります。

今回の訓練では避難する側の二葉地区防災福祉コミュニティが二葉地区からの避難者名簿を作成し、受け入れ側の若松地区防災福祉コミュニティは炊き出しの準備をして、避難者を受け入れるという訓練を実施しました。



### ●外国人への対応

長田区には外国から就業や留学のため滞在している外国人の方が多く住んでおられるので、被災した場合に備えて、通訳支援活動等を実施しました。地域の皆さんと一っしょに消火訓練に参加するなど、災害時にも孤立しないようにさまざまな配慮をしています。(長田消防署 菅井 晶)